Japanese Utility Model Application Unexamined Publication Gazette
Japanese Utility Model Application Laid-open No. Hei 1-124775
laid open for public inspection on August 24, 1989
Japanese Utility Model Application No.Sho 63-20802
filed on February 19, 1988

Applicant

Fuji Photograph Film Co., Ltd.

1. Title of the Invention

ELECTRONIC DIGITAL STILL CAMERA

2. Scope of Claim for a Utility Model Registration

An electronic digital still camera, including:

a memory cartridge insertably/ejectably provided in a camera body; and an image sensor disposed at an image forming position of a photographing lens; the electronic digital still camera converting an analog image signal obtained from the image sensor into a digital image signal, and recoding the digital image signal in the memory cartridge, wherein

the memory cartridge is stored and disposed, with respect to the generally box-shaped camera body in which a height of a camera is smaller than a depth thereof, such that an upper and lower surfaces of the memory cartridge are parallel with an upper and lower surfaces of the camera body.

公開実用平成 1-124775

⑲ 日本 国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

◎ 公開実用新案公報(U)

平1-124775

⑤Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)8月24日

H 04 N 5

5/225 5/907 F-8121-5C B-6957-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

69考案の名称

デジタル電子スチルカメラ

②実 願 昭63-20802

20出 願 昭63(1988)2月19日

⑩考案 考 織

正 明

東京都港区西麻布 2 丁目26番30号 富士写真フイルム株式

会社内

⑩考案者 原瀬

利克

東京都港区西麻布 2 丁目26番30号 富士写真フイルム株式

会社内

⑦出 願 人

富士写真フイルム株式

会社

本

個代 理 人 弁理士 松浦 惠三

神奈川県南足柄市中沼210番地

明 細 書

1. 考案の名称

デジタル電子スチルカメラ

2 . 実用新案登録請求の範囲

メモリカートリッジをカメラ本体内に挿入排出 可能に設け、撮影レンズの結像位置に配置したイメージセンサから得られるアナログ画像信号をデジタル画像信号を換したのち、このデジタルの 像信号を前記メモリカートリッジに記録するよ にしたデジタル電子スチルカメラであって、

カメラの高さがその奥行きよりも小さい略箱形のカメラ本体に対して、該カメラ本体の上下面と 前記メモリカートリッジの上下面とが平行になる ように該メモリカートリッジを収納配置するよう にしたことを特徴とするデジタル電子スチルカメ ラ。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案はデジタル電子スチルカメラに係り、特

公開実用 平 成 1 − 124775

に画像信号をメモリカートリッジに記録するようにしたデジタル電子スチルカメラに関する。

〔従来の技術〕

一般に、電子スチルカメラは、固体撮像素子と 記録媒体として比較的記憶容量の大きい磁気シートを用い、被写体を純電子的にスチル撮影して回転する磁気シートに記録するもので、画像の再生は別段のテレビジョンシステムやプリンタ等で行っている。

かかる電子スチルカメラは、磁気シートを高速 で回転させる機構や、該磁気シートに磁気記録再 生を行う磁気ヘッドの移動機構等の機構部を有す るため、カメラの小型軽量化には限度があった。

これに対し、静止画のアナログ画像信号をデジタル画像信号に変換したのち、これをカメラに着脱自在な固体メモリ(メモリカートリッジ)に記憶するようにしたカメラが提案されている(特開昭54-139422 号公報参照)。

〔考案が解決しようとする問題点〕 しかしながら、この種のカメラは未だ実用化さ れていず、その固体メモリの大きさや形状、及び そのメモリのカメラ内へのレイアウトの具体的な 構成等、この種のカメラの実用価値を高める工夫 は何らなされていなかった。

本考案はこのような事情に鑑みてなされたもので、カメラ内の空間を有効に利用してカメラの薄形、小型化を図ることができるデジタル電子スチルカメラを提供することを目的とする。

[問題点を解決するための手段]

している。

〔作用〕

即ち、本考案はカメラの外部記憶手段としてメモリカートリッジを使用することにより、形状を可の薄形、小型化を図る。また、上記外形がを上するカメラに対して、メモリカートリッジを上がって配置することにより、カメラの高さが高くならないようにし、より一層の薄形、小型化を図るようにしている。

〔実施例〕

以下添付図面に従って本考案に係るデジタル電子スチルカメラの好ましい実施例を詳説する。

第1回は本考案に係るデジタル電子スチルカメラの一実施例を示す斜視図である。このデジタル電子スチルカメラは、いわゆる110カメラタイプの外観を有し、記録媒体としてメモリカートリッジ10を用いている。また、一様に、撮影レンドの通常の電子スチルカメラと同様に、「仮CCDセンサ)14が配置されている。尚、このCCDセン

ンサ1 4 は、カメラ下面に沿って設けられたセンサ基板 1 6 上に固定されており、その光路はプリズム 1 7 によって直角に屈曲させられている。これにより、センサ基板 1 6 を大きくとることができる。

一方、上記 C C D センサ 1 4 から得られる画像に号(アナログ信号)を前記メモリカートラ)を信号(アナロが信号)の信号(図示せず)のを信号(図示せず)ので、メモリカートリッジ 1 0 とデジタル信号ので、メモリカート 1 8 が A / D 基板 2 0 に固地ボックる。 2 2 はストロボ、 2 4 は電池ボック。 6 はファインダ、 2 8 は電 で ひ サ 1 4 のの電力のは 5 2 0 とには C C D センサ 1 4 のの電気回路が搭載されている。

さて、メモリカートリッジ10は、近年、電子 機器等の外部記憶手段として注目されている。こ の種のメモリカートリッジとしては、例えば、I Cカード或いはメモリカードと呼ばれているもの があり、略名刺大のカード状の筐体に半導体メモリ(EPROM, SRAM等)、マイクロコンピュータ、バックアップ用の電池等が収納されて構成されている。また半導体メモリ等のアクセスのため、電子機器側のソケットと接続される端面には多数の話子が配列されている。尚、筐体の厚さは一般的にはかかるメモリカートリッジ10は、カメラ本体30の側面から挿入され(矢印A)、本体内のソ

ケット18に嵌挿される。

第1図に示すように、カメラ本体30の上下ない。カメラ本体30の行になれていまり、カートリッジ10はが配置ようのとなった。すなわち、カートはできる。できる。の配置によったのできる。できる。

第3図は本考案に係るデジタル電子スチルカメ ラの他の実施例を示す斜視図であり、第1図と共 通の部分に関しては同一の符号が付してある。

このデジタル電子スチルカメラは、カメラ本体 3 0 と平行に収納配置されるメモリカートリッジ 1 0 をカメラ前面から挿入するようにしたもので ある。

このようにメモリカートリッジ10を配置することにより、カメラの高さ(厚さ)と共にカメラの幅をも小さく押さえることができ、メモリカートリッジ10の幅よりカメラの幅Wが規制されるまで小さくすることができる。

本実施例では、撮影レンズ12の光軸に固体撮像デバイス14を配置したが、前記第1の実施例の様にプリズムで光路を曲げて固体撮像デバイスを設けてもよい。

また、本実施例ではメモリカートリッジ10の端部がカメラ装着時にカメラ前面より突出しているが、カメラ本体内にメモリカートリッジ10全体が収納装着される様に配置しても良い。

公開実用平成 1-124775

尚、22はストロボで、ストロボ使用時には、 図示した様にカメラ側面へポップアップし、ストロボ未使用時にはカメラ本体内に収納される。

本実施例によるデジタル電子スチルカメラでは、カメラ幅Wが小さく抑えられるため、カメラを構えた時、手の中に収まりやすく撮影がやりやすくなる。また、本実施例ではカメラ前面からメモリカートリッジ10を挿入するようにしたが、カメラ後面から挿入してもよい。

次に、カメラ内のソケットに嵌挿されたメモリカートリッジを取り出す機構の一例について説明 する。

第2図はカメラに適用されるメモリカートリッジの取出機構の斜視図であり、てこを利用してメモリカートリッジを取り出すようにしている。即ち、この取出機構は、主としてイジェクトレバー40と、レバー42と、スライド部材44とから構成されている。

レバー42は、カメラ本体に固定されたピン4 2 Aによって回動自在に配設され、その他端には イジェクトレバー40が配設されている。

従って、第2図に示す状態からイジェクトレバー40をカートリッジ排出方向(矢印A方向)に押圧すると、レバー42を介してスライド部は44に約2倍の力が伝達される。これにはスライド部は44にかず出方向に、44Cにが係合しているメモリカートリッジ10もスライド

公開実用 平成 1─ 124775

部材44とともにスライドしソケット18から引き出される。そして、ソケット18から引き出されカメラ本体30から突出したメモリカートリッジ10は、その後端部を把持して引き抜くことにより、容易に取り出すことができる。

〔考案の効果〕

以上説明したように本考案に係るデジタル電子スチルカメラによれば、記録媒体として、従来ならして、従来体とした。のは、おうにしかったのがである。となり、カートを図れて各種ののができるとともに、東にそのかとというというのは、大型化を図ることができる。

尚、現在のメモリカートリッジの記憶容量では 6、7枚の画像の記録が限度であるが、記憶回路 の集積化や処理回路の改善等により、現在の磁気 シートの記憶枚数(50枚)と同等の枚数の画像 の記憶も実現可能である。

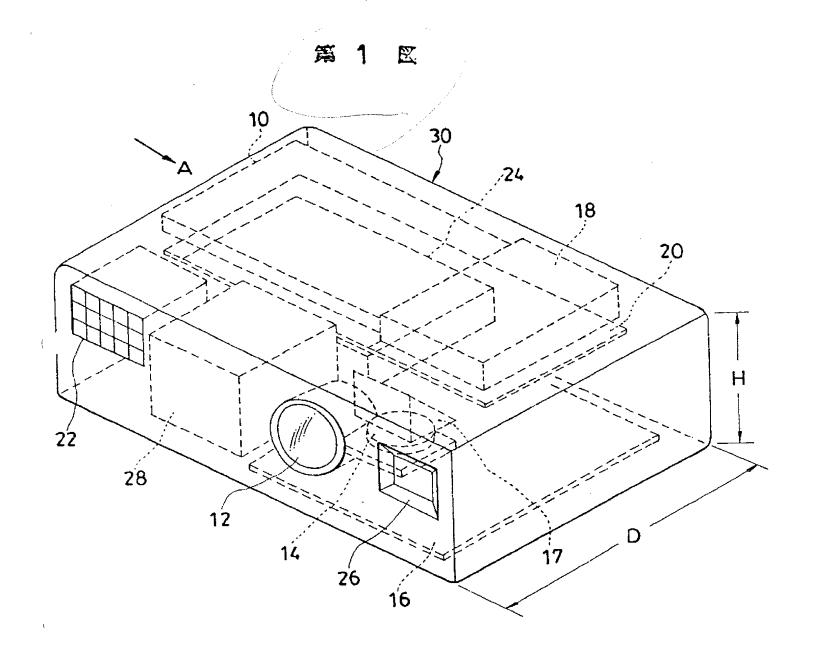
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係るデジタル電子スチルカメ ラの一実施例を示す斜視図、第2図は第1図のカ メラに適用されるメモリカートリッジの取出機構 の一例を示す斜視図、第3図は本考案の他の実施 例を示す斜視図である。

10 …メモリカートリッジ、 12撮影レンズ、 14 … C C Dセンサ、 18 …ソケット、 30 …カメラ本体。

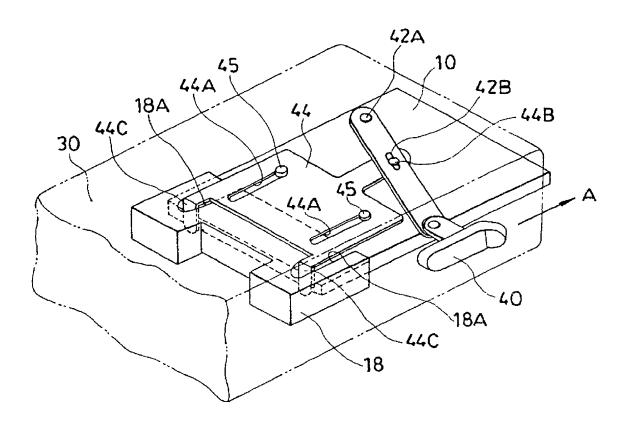
代理人 弁理士 松浦憲三

公用夫用 + № 1 - 124//0

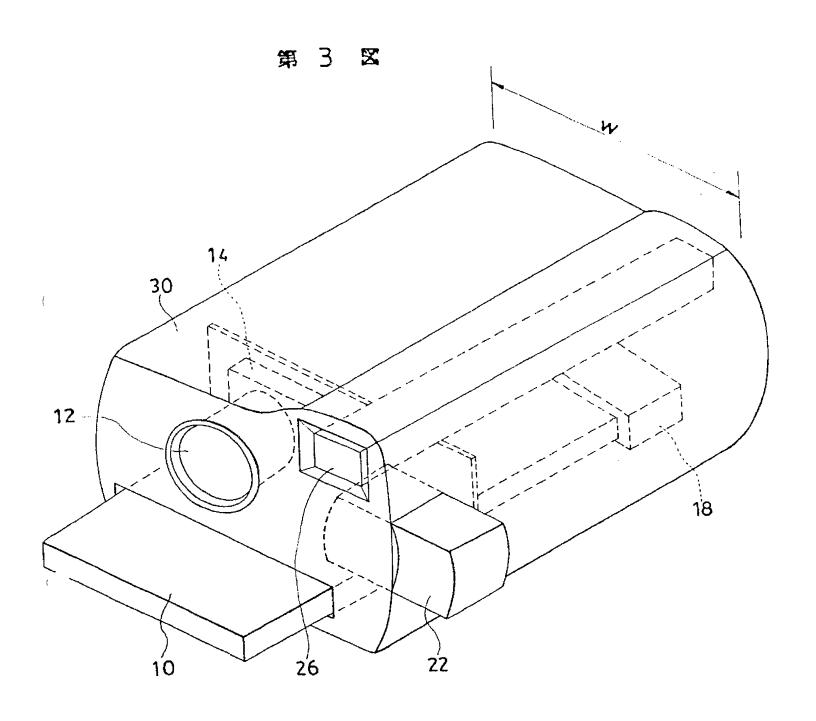


10…メモリカートリッジ 12…撮影レンズ14… C C Dセンサ 18… ソケット 30…カメラ本体

864 実開1-12477 以理人 松 浦 憲 三



865 実開1-124 代用人 松 浦 憲 三



866 実開1-124 代理人 松 浦 憲 三